

ステークホルダーとの取り組み

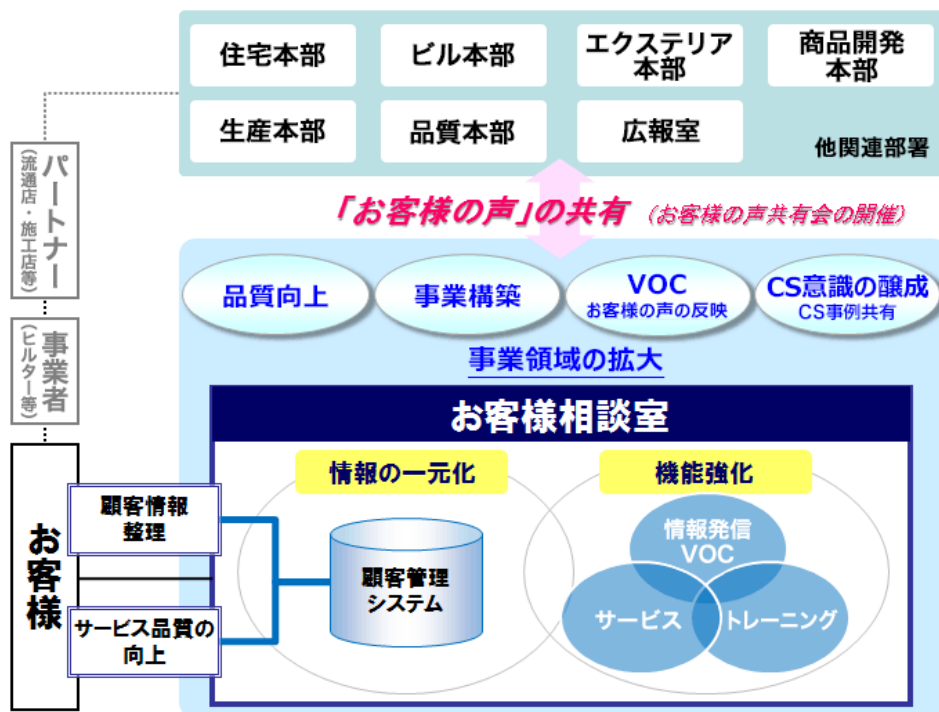
関連するSDGs



お客様相談室の取り組み

YKK APでは、お客様との窓口であるお客様相談室を通じて「お客様の声」を収集の上、社内関連部署へ共有し、商品・サービスの改善やお客様目線の情報発信につなげるなど、お客様満足度向上に取り組んでいます。

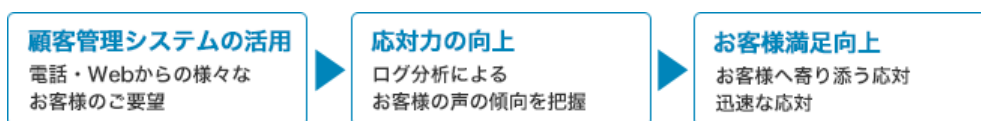
お客様からの電話、Webによるご相談からアフターメンテナンスなどのお問い合わせに対応しています。YKKグループのコアバリューである「品質にこだわり続ける」をモットーにして一人ひとりのお客様の声を真摯に受け止め、常にお客様の満足を最優先に行動しています。



※VOC=Voice of Customer

お客様対応力強化の取り組み

お客様相談室やメンテナンスセンターでは、顧客管理システムを用いて、お客様のご要望を分析し、より質の高いサービスをご提供できるように準備しております。



お客様からのリフォームのご相談・ご要望が増えており、その対応として全国MADOショップのネットワークを活用し、ご紹介活動をすすめています。お客様の声やご期待に応えられるよう対応力・提案力向上を目指しています。



ショールームの取り組み

地域のお客様とつながるショールーム展開

YKK APでは日本の各地にお住まいになるお客様が、実際に商品を見て・触れて・感じていただける場として全国各地にショールームを展開しています。

ショールームでは専門のアドバイザーが、お客様のニーズや困りごとに応じて最適な商品をご提案することで、お客様の住まいづくりやより良い暮らしへのサポートをしています。

また、建築関係者様向けの施設であるP-STAGEやプレゼンテーションルームでも一般消費者の方にご来場いただくことができ、多くの地域・お客様との接点の場としています。

全国展示施設一覧(2023年7月現在)

ショールームの属性

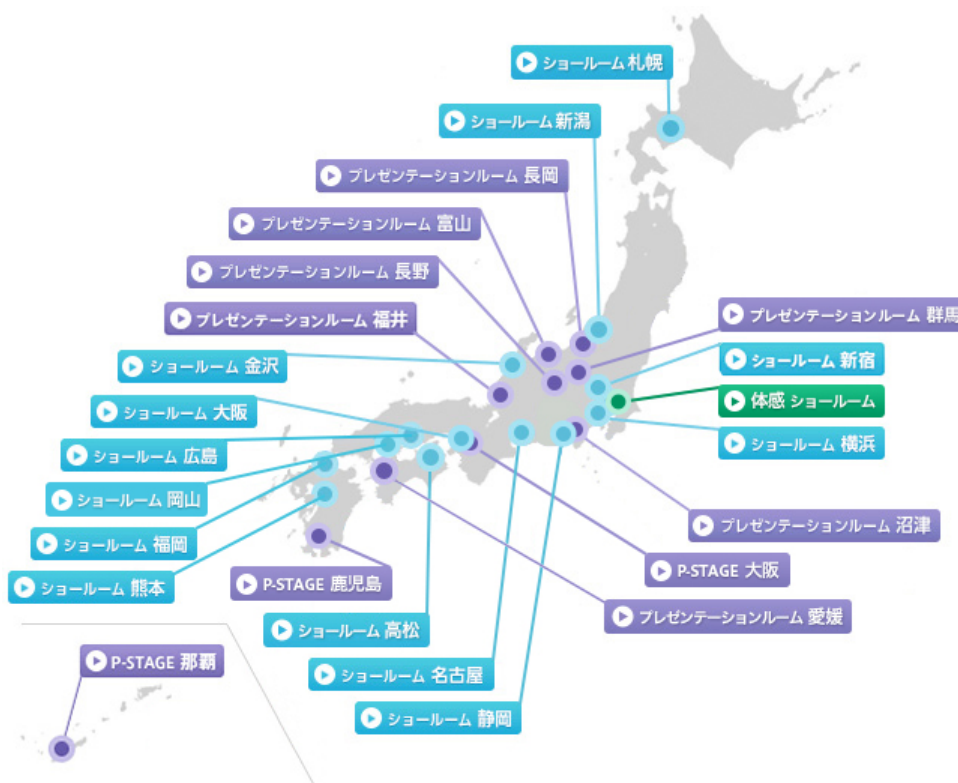
体感ショールーム：YKK AP単独の体感型ショールームです。

コラボレーションショールーム：水まわりや床材、窓など一度でいろいろな商品を見ることができるショールーム

※札幌・新宿・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡は、TOTO・DAIKEN・YKK AP コラボレーションショールーム、新潟・横浜・静岡・岡山・熊本は、TOTO・YKK AP コラボレーションショールームです。

P-STAGE：建築関係者様の商品確認にも活用いただいている展示場です。

プレゼンテーションルーム：建築関係者様の商品確認にも活用いただいている中小規模の展示場です。



お客様に窓の大切さを知っていただくために

ショールームでは単に商品を展示するだけでなく、夏と冬の環境を再現した実験機などを工夫することにより、実際の性能や効果などをより具体的にお客様に感じていただき、窓に求められる性能や、窓をしっかり選んでいただくことの大切さをお伝えしています。

夏や冬の環境を再現し、結露の発生状況などを確認いただけるだけでなく、サーモグラフィの色や温度表示の値で窓の素材による断熱性の違いを知っていただき、さらに触って感じていただける体感展示を行っています。



特に、近年、省エネ・CO₂削減・健康への配慮などから、新築や既築住宅の高断熱化・高性能化が求められており、YKK APでは、ショールームを通じて断熱性能の高い樹脂窓の重要性をご提案しています。



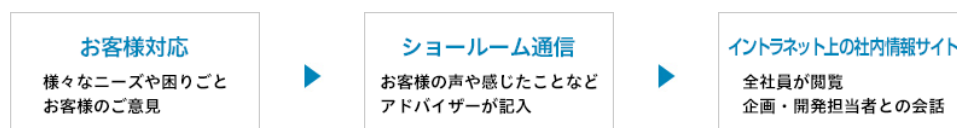
既設の窓に内窓をつけたり、カバー工法で新しい窓に取りかえた場合の防音効果なども実験で体感いただけます。

浴室をリモデルした場合、窓も合わせてリモデルできることやその効果も確認いただけます。

※各ショールームによって展示内容は異なります。

社内各部署との情報共有

ショールームアドバイザーがお客様対応を通じていただいたさまざまなご意見や、対応を通じてアドバイザー自身が感じた商品の良いところ、直すべきところなどは、企画・開発部門をはじめ全社に情報共有され、より良い商品づくりやサービスの向上に活かされています。



YKK AP パートナーズサポートスタジオの取り組み

YKK APは、2019年3月、プロユーザー向けの技術提案施設「パートナーズサポートスタジオ」（略称：PSスタジオ）をYKK AP黒部荻生製造所（富山県）内に開設しました。

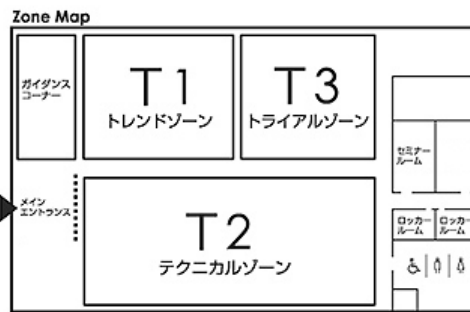
今、住まいに対する生活者のニーズが高まる一方で、建築業界では深刻な職人不足や高齢化に加え、品質に対する要求が一段と高まっています。

そのような背景から、パートナーであるプロユーザーの方々が抱える個々の課題や要望に応じて、YKK APが持つ技術と品質に基づく提案から課題解決方法を具現化し、一緒に快適で安全・安心な住まいづくりを目指すのが、この「PSスタジオ」です。

施設は、T1（トレンドゾーン）、T2（テクニカルゾーン）、T3（トライアルゾーン）の3つの提案ゾーンから成り立っています。YKK AP黒部荻生製造所内には、技術の集積地として研究開発を行う「YKK AP R&Dセンター」と、商品価値の評価・検証を行う「価値検証センター」があります。新たに開設した「PSスタジオ」を加えた3つの施設が連携し、さまざまな技術情報や価値提案をワンストップで提供していきます。



パートナーズサポートスタジオ外観



施設ゾーニング図

T1 トrendゾーン

「快適・安全・安心・便利な住まいづくり」を実現する窓・玄関・インテリア・エクステリア周りをご提案

トータルデザイン提案



ジーボートProアウトドアリビング提案と室内窓での空間演出提案



異なる2面のファサードで展示を構成



【見どころアイテム】



T2 テクニカルゾーン

商品の「品質や技術」をご提案



新商品の安全・安心配慮の設計や組立・
施工のポイントを確認できます。



門扉やフェンスの基礎部分を見るだけでなく、
施工研修なども可能です。



開口部まわりの耐震補強など、
安全・安心な住まいづくりをご提案しています。



持出バルコニーなど使用時はもとより、
施工時の安全・安心に関する技術も提案しています。

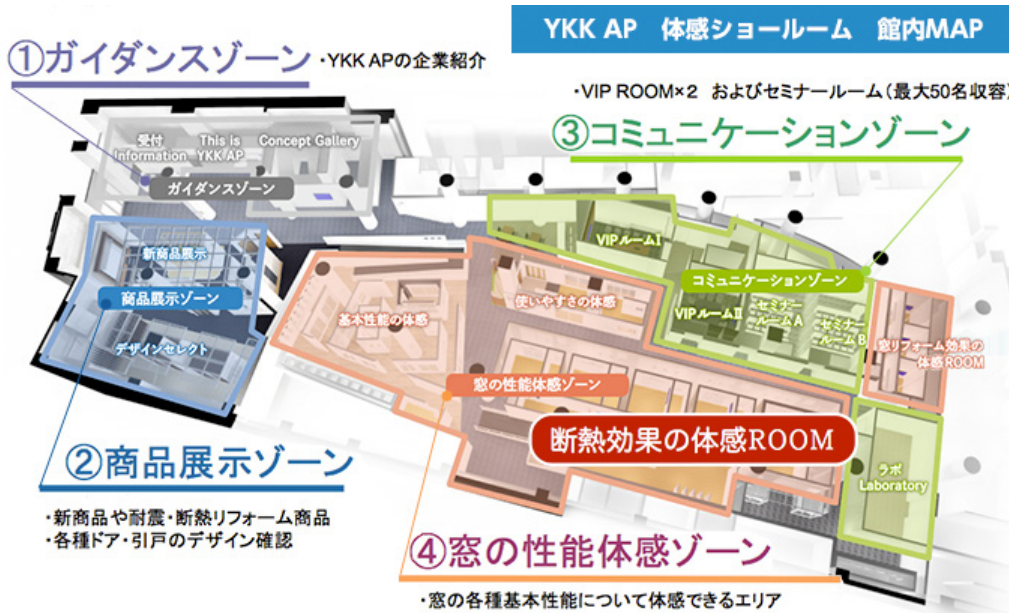
T3 トライアルゾーン

工法をテーマに省施工など木造建築現場の課題に対する新たな取り組みをご提案

YKK AP 体感ショールームの取り組み

YKK APは、2016年6月、建築関係者様を対象とした「体感ショールーム」を品川にオープンしました。

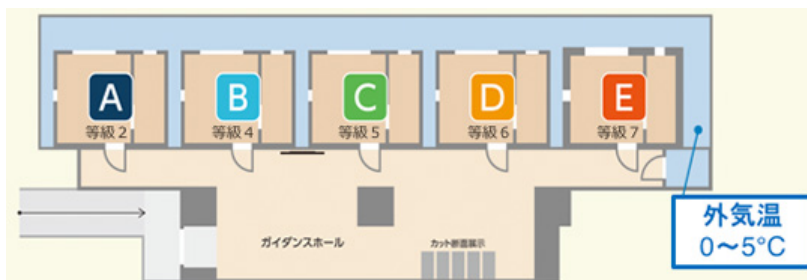
“窓”の価値をダイレクトに体感・訴求できる体感型ショールームとして、建築関係者様に、YKK APの“窓”および高断熱窓の良さを体感を通じて実感していただく事で理解を深めていただき、実際に商品をお使いになるお客様へのご提案や情報提供をすすめていただいております。



窓の性能体感ゾーン

断熱効果の体感ROOMでは、冬の外気を想定した0~5℃に冷やされた冷蔵庫内に、窓と断熱材の仕様が異なる5つの空間を設置しており、①窓辺の寒さと結露 ②室温のムラ ③部屋間の温度差（ヒートショックの原因となる）などを比較・体感いただくことができます。また、よりわかりやすくするために、サーモグラフィなどによる可視化と、電力消費量などの表示も行っており、部屋ごとの省エネ効果の違いも確認いただけます。

(A~Eの各部屋は、住宅性能表示制度における断熱等級毎の性能に合わせた仕様になっています)



断熱効果の体感ROOM 平面図



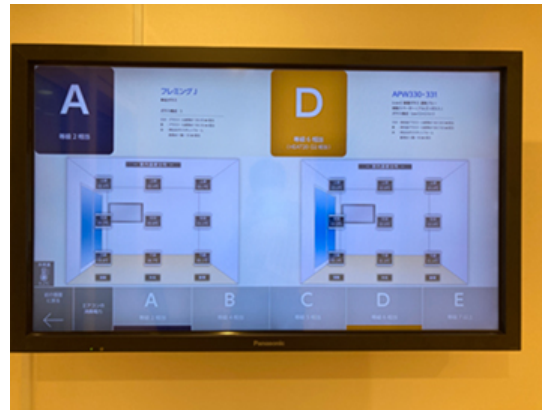
断熱効果の体感ルーム（暖房室）

【窓の仕様】 A:アルミサッシ+単板ガラス、B:アルミサッシ(Low-E)、C:アルミ樹脂複合窓(Low-E)、D:樹脂窓(Low-E)、E:樹脂窓(トリプルLow-E)

■サーモカメラによる各部屋の表面温度の見える化



■空間全体（9ヶ所）の室温表示による見える化

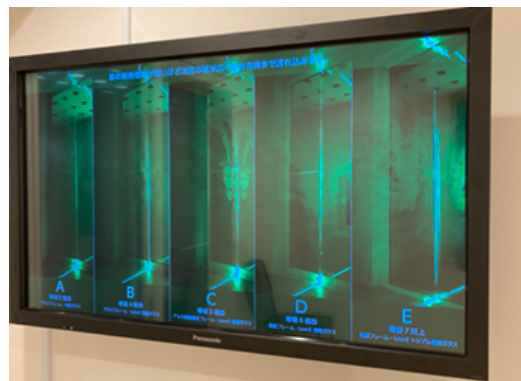
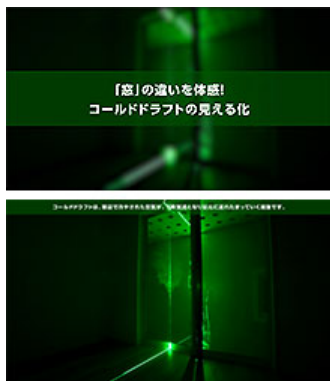


モニター上で、2つの部屋の窓まわりの表面温度や室温を比較表示することで、その差をより明確にご覧いただくこともできます。

■コールドドラフトを動画で紹介

また、各部屋の窓の断熱性能の違いによるコールドドラフトの発生状況もご紹介しており、樹脂窓など高断熱窓の効果をさらにわかりやすくお伝えしています。

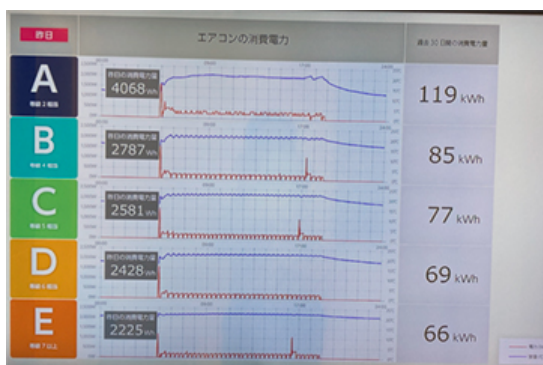
(コールドドラフト：冬に窓辺で冷やされた冷気がガラス面を伝わり床面付近に下降し足元が冷える現象)



コールドドラフトの見える化
(特殊なスモークと光で空気の流れを見える化しています)

A・Bのアルミサッシでは、スモークが勢い良く下方へ降りていきますが、C（アルミ樹脂複合窓）、D・E（樹脂窓）では、断熱性が高く窓まわりが冷えにくいいためほとんどスモークが動きません。

■エアコンの消費電力量の比較



樹脂窓など高断熱窓は、結露の発生を抑制し、熱損失を抑えながら省エネ効果を高めることを実際の体感と合わせて確認いただけます。

その他、窓の基本性能（遮熱性・遮音性・通風／換気性・防犯性・清掃性・使い勝手）を比較できるコーナーにおいても、それぞれの性能の違いを目と耳と体で体感いただくことができます。



遮熱性能（12種類の窓）



遮音性能（10種類の窓）



防露性能（15種類の窓）



使い勝手（ユニバーサルデザイン・清掃性・操作性）



体感ルーム（ガイダンスホール）



通風／換気性能（たてすべり出し窓・引違い窓）

TOTO・DAIKEN・YKK AP コラボレーションショールームの取り組み

TOTO、DAIKEN、YKK APの3社は、アライアンスの一環として、TOTO・DAIKEN・YKK AP コラボレーションショールームを展開しています。TOTO・DAIKEN・YKK AP コラボレーションショールームでは、お客様の住まいに必要なさまざまな部位やパーツに合わせて、3社の商品をワンストップで確認できるだけでなく、各社の商品や技術の組み合わせによる空間単位でのご提案を行うことでお客様の暮らしをより快適にする活動を行っています。

TDYの取り組み

TOTO、大建工業、YKK APの3社は新しいライフスタイルを提案するために
リモデル分野で2002年から業務提携しています。

わたしたちが目指すこと

暮らしの中に笑顔を。

水まわり、床や壁、窓やドア。わたしたちのものづくりは、暮らしを形づくるもの。わたしたちが大切にしたいのはその暮らしの中から生まれる日々のかげえのない笑顔です。



わたしたちからの提案

十人十家

“くらしの想いを わたしらしく”
10人いれば、10通りのくらしの想いがある。さまざまなくらしの想いをかなえる、TOTO、DAIKEN、YKK APからのライフスタイルの提案です。

わたしたちからの約束

グリーンリモデル

グリーンリモデルは豊かな生活と自然を未来につなぐ、TOTO、DAIKEN、YKK APからの約束です。「健康・快適」「安全・安心」「環境配慮」の3つの視点にもとづいて、社会環境や暮らし方の変化に合わせた笑顔あふれる家づくりを支えていきます。



TOTO

DAIKEN



<https://re-model.jp/>



「おうちdeショールーム」の取り組み



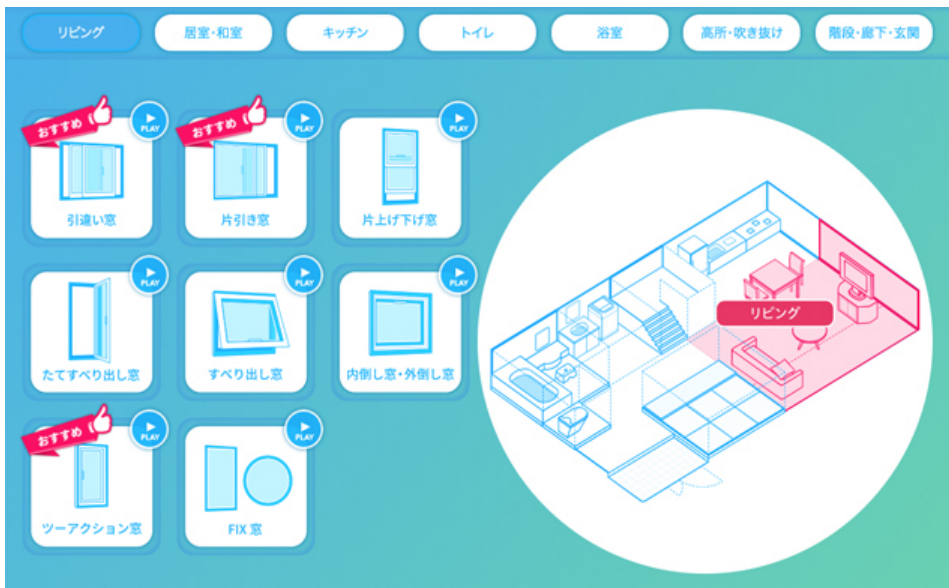
商品選びのポイントをアドバイザーが動画で解説するWEBコンテンツ「おうちdeショールーム」。

2020年11月に「窓」と「玄関ドア」、2022年3月に「エクステリア」編を公開しました。

「おうちdeショールーム」の特長

■「窓」選びポイントの紹介

窓の「開き方」にはさまざまな種類があり、設置する部屋や位置、用途に応じて選定することが快適な住まいづくりには重要です。「おうちdeショールーム」では、リビングやキッチン、トイレなど、部屋別におすすめの窓種を表示し、アドバイザーによる解説動画で窓種の特長をわかりやすく紹介。お客様の悩みやご要望にお応えする最適な商品を提案しているアドバイザーならではの視点で「窓」選びのポイントをお伝えします。



「窓の種類」部屋ごとのおすすめの窓と特長を動画で紹介します

■「玄関ドア」選びポイントの紹介

玄関ドアは「おうちの顔」とも言われ、豊富なデザインの中からどのように選んだらよいか迷うアイテムです。また、機能面においても、操作がかんたんで防犯性にも優れた電気錠「スマートコントロールキー」や、扉を閉めたまま通風・換気ができる「通風デザイン」など、利便性や快適性に直結する選択ポイントがたくさんあります。アドバイザーによる解説動画では、「開き方」「デザイン」「通風」「採光」「断熱性」「スマートコントロールキー」の選び方のポイントを紹介。お気に入りのデザインを選んで、メールやLINEでご家族などに共有することもできます。



「玄関ドア」選びのポイント動画

■「エクステリア」選びのポイント紹介

商品から探す

エクステリア商品には様々な種類があります。「おうちdeショールーム」では、住宅のどの部分に使用する商品かを家のイラストで表示します。また、「カーポート」「フェンス」「宅配ボックス・ポスト」については、商品をより詳しく紹介する専用ページを設け、アドバイザーによる解説動画で各商品の役割や特長を分かりやすく紹介するほか、お住まいの地域に適した性能や住宅スタイルからの選定など商品検討に役立つ情報も紹介します。



テーマから探す

- 【デザイン性】 4つのデザインテイストで、調和のとれた“魅せる住まい”のコーディネートを紹介します。
- 【利便性】 暮らしをより便利にする利便性の高い商品を紹介します。
- 【快適性】 日射や風など自然エネルギーを取り入れる商品や、プライバシー確保ができる商品などを紹介します。
- 【安心・安全性】 家族みんなが安心して暮らせる、安全に配慮した商品を紹介します。



ステークホルダーとの取り組み

関連するSDGs



地域社会への貢献に対するYKK APの考え方

YKK APの企業活動の根底には、“他人の利益を図らずして自らの繁栄はない”という「善の巡環」の精神が貫かれています。

この精神のもと、“地域との共生”を大切に考え、事業を通じた社会貢献活動をはじめ、地域に根ざしたボランティア活動や環境保全活動、将来を担う子どもたちに向けた次世代教育支援に取り組むことにより、地域社会の課題解決に寄与することを目指しています。

国内・海外においてそれぞれの地域のニーズに応じた活動に取り組み、継続していくことで、地域に信頼され、社会に愛される会社であり続けることを目指すとともに、地球環境を未来へつないでいきたいと考えています。

2022年度の総括と今後の展開

2022年度は、国内・海外の各拠点や部門において合計116件の社会貢献活動に取り組みました。今後も継続的に取り組み、地域社会の課題解決に貢献していきます。

テーマ	2022年度計画	2022年度実績		2023年度計画
社会貢献数※1	各拠点2件以上	各拠点2件以上 (計116件)	○	各拠点2件以上

※1：YKK APグループ（国内+海外）

次世代教育支援

メダカの生息環境を再現し小学校へ寄贈

九州製造所（熊本県八代市）が2010年から続けている、絶滅危惧種の二ホンメダカを製造所内の池などで繁殖させ、市内の小学校に教材用として贈る「おしえて!!メダカ先生プロジェクト」。メダカを長生きさせたいという小学校の相談を受け、2022年は砂利やスイレン、水草を配置した自然に近い環境を再現した樹脂容器を贈呈しました。今後も地元企業と共働して、持続可能な社会づくりの第一歩として、環境教育活動を継続していきます。



ショールームで中学生が職場体験 アドバイザー業務に挑戦

体感ショールーム（東京都港区）で2022年9月、近隣の中学2年生の職場体験を受け入れました。中学校教育の進路学習の一環で、近隣企業での職場体験を行う中学校側からの依頼を受けて実現。中学生は3日間、ショールームを来訪するお客さまへの接客対応やアドバイザー業務を体験。お客様対応時のあいさつやマナー、立ち振る舞いなどの運營業務の基本を学び、実際に来館したお客様への案内もアドバイザーと共に実践しました。



協賛企業として学生たちと交流 「窓」から考えるサステナビリティ

SDGsをテーマに高校生と企業が交流・議論するイベント「第3回SB Student Ambassador ブロック大会」の東海大会と北陸大会が2022年10月に開催され、YKK APが協賛企業として企業講演に登壇しました。講演では、窓メーカーの視点からカーボンニュートラルについて説明。環境を守る際に生じる課題を整理し、これからの住まいの在り方を議論しました。これからの社会を担う若者世代への気づきを提供するとともに、自社の取り組みを積極的に発信していきます。



地域貢献活動

食品ロス削減を目指し、余った食材を持ち寄り社内外で再利用

社員が各家庭で余っている食料品や生活用品を持ち寄り、必要とする社内外の方に活用してもらう「フードステーション」、「フードドライブ事業」を、2022年から富山県黒部市の各拠点で協力して実施しています。このうち「フードドライブ事業」では食料品や生活用品などを、黒部市社会福祉協議会等を通じて支援を必要とする地域の福祉施設や団体、ひとり親家庭などへ寄付しています。今後も社会課題となる食品ロスを削減するとともに、地域へのサポートを継続的に行っていきます。



「富山資源循環社会モデルの創成」に賛同

YKK APは富山大学を中核として進めている産学融合拠点構想プロジェクト「富山資源循環社会モデルの創成」に賛同し、産官学民による共創で、将来に向けたアルミリサイクルの技術的深耕を加速させます。このプロジェクトは県内のアルミニウム関係産業活性化やアルミリサイクルの研究推進などに取り組むもので、これらを推進するための研究拠点として新設移転する「先進アルミニウム国際研究センター」に対し、2023年2月寄付金を贈呈しました。



生き物の生態観察できる「さぬきの杜」 製造所敷地内に整備

四国製造所（香川県綾歌郡）では敷地内に生物公園「さぬきの杜」の整備を進めています。2022年11月には工場排水を循環利用した「メダカ池」が完成し、近隣小学校の児童とともに約40匹のニホンメダカを放流しました。このメダカは四国製造所内で繁殖させたもので、一部は放流イベントに参加した小学校へ寄贈しました。生物公園は環境負荷の低減活動を学べる場として、2021年から企画を進め、28年の完成を目指しています。



社会貢献活動一覧 [さらに詳細な情報 >](#)

次世代教育支援（国内）

（2023年 6月現在）

対象者	活動名称	活動内容	実施拠点	2022年度実績
保育園児	芋堀り体験教室	社有地内の芋畑に招き、芋堀り体験を実施	九州製造所	344名
小学生	おしえて！！メダカ先生プロジェクト	理科の教材として、製造所内で育成したメダカを寄贈	九州製造所 四国製造所	3校（計150匹） 2校（計60匹）
	製造所敷地内の池へのメダカ放流イベントと寄贈	工場排水を循環利用した「メダカ池」に、近隣小学校の児童をメダカを放流するとともに、一部のメダカを寄贈	四国製造所	2022年12月実施
	グリーンカーテン応援プロジェクト	小学校の窓際に、子どもたちと一緒にグリーンカーテンを設置	九州製造所	ゴーヤ苗配布80鉢1校（以前グリーンカーテン設置箇所補修）
	「窓」から考えるエコハウスづくり	エコハウスの模型を作り、風の流れ方や窓の断熱性、植栽の遮熱効果等を学習（親子で参加のワークショップ）	四国製造所	50周年イベントと同時開催 57名
中学生	職場体験	近隣の中学2年生の職場体験の受け入れ	体感ショールーム	2022年9月（3日間）
	企業訪問学習	修学旅行時の企業訪問学習（4名来社）	東北支社	2023年3月9日実施
高校生	第3回SB Student Ambassador ブロック大会（東海大会・北陸大会）への参加	SDGsをテーマに高校生と企業が交流・議論するイベントの協賛企業として、「窓」から考えるサステナビリティの講演を通じて窓メーカーの視点からカーボンニュートラルを説明。	サステナビリティ推進部	参加者：39校、244名
子ども	無料社会体験アプリ「ごっこランド」への出店	子ども向け社会体験アプリ「ごっこランド」に、「窓」に関連する知育ゲーム「YKK APのおうちかいてくださいせん！」を出店	広報室	2021年10月から出店
	「うんこ おうちの安全ドリル まどとドア編」冊子・オンラインゲームの公開	子どもに人気の学習書「うんこドリル」とコラボレーションし、「うんこ おうちの安全ドリル まどとドア編」を制作・公開、冊子を国内製造拠点の近隣小学校へ寄贈	品質本部	2021年5月公開 冊子寄贈86校、 11,784人

地域貢献（国内）

対象者	活動名称	活動内容	実施拠点	2022年度実績
福祉施設	花の苗の寄贈	協力会社の福祉施設へ花の苗の寄贈	四国製造所	7カ所（各100鉢）
保育園	松ぼっくり拾い	園児の松ぼっくり拾い体験（八代ハウス（会社寮）敷地内）クリスマスのオーナメント工作に利用	九州製造所	1園
	ヤギの貸出し	八代市内保育園へ、除草や情操教育、アニマルセラピーを目的に貸出		2園
地域住民	HAPPY GREEN PJ	敷地内で栽培した樹木の苗木を安全環境管理部へ寄贈	九州製造所	30鉢
	町内会主催の交通安全活動		北海道支社	1名
	フードバンクへの寄付	社員が各家庭で余っている食料品や生活用品を持ち寄り、必要とする社内外の方に活用してもらう「フードステーション」、「フードドライブ事業」を富山県黒部市の各拠点で実施	黒部製造所	3か月に1回の寄付
		備蓄品（アルファ米）1600個を仙台福祉協議会、フードバンク仙台へ寄付	東北支社	2か所
	災害備蓄品（保存水・乾パン）のフードバンクへの寄付	九州支社	11フードバンク・団体に寄付	
健康・医療	献血活動	製造所内で献血活動を実施	黒部製造所 黒部越湖製造所 黒部荻生製造所	YKKグループ社員 319名
			滑川製造所	5名
			九州製造所	92名
		工場敷地内で献血活動を実施	富山水橋工場	約10名
			岡山工場	約20名
地域イベントへの参加・協力	環境保全活動	県主催 環境保全活動参加協力「地下水保全活動」	九州製造所	5名
		県主催 環境保全活動参加協力「江津湖清掃活動」		3名
	植樹・清掃活動参加	「館山公園を復活させる会」植樹や清掃ボランティア	東北製造所	20名
	久喜市環境推進協議会への参画	市と民間団体等が協働して環境保全と創造に向けた活動を推進、事例発表・意見交換等も行っている	埼玉窓工場	1回につき 1名参加
	「富山県資源循環社会モデルの創生」に賛同	富山大学を中核として進めている産学融合拠点構想プロジェクト「富山資源循環社会モデルの創成」に賛同し、寄付金を贈呈	YKK AP	1回目
	滑川市環境フェアへ参加協力	1ブースを使用し、環境への取組みをアピール パネル展示、商品サンプル、配布物等	滑川製造所	展示のみ (従業員の参加なし)
	地域マラソン大会のボランティア	滑川市で行われている「ほたるいかマラソン」で給水担当で参加		8名
	環境展示会「エコプロ展」	環境展示会「エコプロ展」に出展し、「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」実現に向けた取り組みを紹介	安全環境管理部	オンライン出展
	とやま環境フェア	とやま環境フェア開催委員会主催の「とやま環境フェア」にYKKグループとして出展、環境への取り組みや商品を展示、来場者参加型企画の運営	黒部製造所 黒部越湖製造所 黒部荻生製造所 滑川製造所	オンライン出展
	マラソン大会の運営サポート	「カーター記念黒部水マラソン」の共催として、大会の運営をサポート	黒部製造所 黒部越湖製造所 黒部荻生製造所 滑川製造所	YKKグループ社員 242名
	EARTH HOUR2023	世界中で同じ日・同じ時刻に消灯することで、地球温暖化防止と生物多様性保全への意思を示すアクションであり、190以上の国と地域が参加する世界最大級のイベント	海外6社 国内14拠点	左記拠点参加のほか、 個人参加が3,074名

近隣地域	地域清掃活動	工場周辺の定期的な清掃活動 (六甲アイランド地域振興会清掃活動)	六甲窓工場	4名
		春と秋に、工場周辺、及び 公共施設周辺の清掃活動を実施	滑川製造所	春・秋共に 約300名
		「宇多津町クリーン作戦」に参加し宇多津中央公園と周辺を清掃	四国製造所	35名
		宇多津中央公園とその周辺の清掃活動を実施		30名
		番の州道路（工場前通勤路）の清掃活動を実施、40kgのゴミを収集		30名
		宇多津臨海公園花壇の植栽		16名
		沙弥島清掃ボランティア		8名
		工場周辺の清掃活動		富山婦中工場
			北海道工場	24名
		工場周辺の定期的な清掃活動（工場南側側溝清掃）	埼玉工場	40名/年
		工場周辺道路、側溝の定期的な清掃活動	山梨工場	約60名
		工場周辺の定期的な清掃活動（工業団地内）	栃木工場	4名
		「春のクリーン作戦」として工場周辺の清掃活動	岡山工場	14名
		春と秋にクリーン作戦として、工場周辺の清掃活動を実施	兵庫工場	14名
		工場周辺の清掃活動を実施 (広島県三次工業団地清掃活動)	広島工場	2名
		千代田区主催の「千代田区一斉清掃の日」に参加し、事業所周辺の清掃活動を実施	YKK80ビル	年1回のみ実施
	自主清掃活動	工場周辺の定期的な清掃活動	六甲窓工場	72名
		工場周辺の清掃活動	埼玉窓工場	200名
		製造所周辺国道沿いの草刈	東北製造所	29名
		製造所周辺のゴミ拾い		35名
		春と秋に、工場周辺の清掃活動を実施	富山水橋工場	24名/回
		製造所周辺河川沿いゴミ拾い活動	黒部荻生製造所	5名
		9/24～10/24に社内で開催した「YKK AP SDGs月間」にあわせて、「秋の海ごみゼロウィーク」に賛同した清掃活動を実施	国内27拠点	2,247名
		早月川河口付近清掃ボランティア活動	滑川製造所	9名
		工場周辺の清掃活動	三重工場	約50名
	環境保全活動	特定外来生物『オオキンケイギク』駆除	黒部荻生製造所	6名

次世代教育支援（海外）

対象者	活動名称	活動内容	実施拠点	2022年度実績
子ども	教育支援	全米火災安全協議会の活動への参画 (地元の子どもに火災安全マニュアルを提供)	YKK APアメリカ社	33名
大学生	窓に関する知識向上イベントの開催	楊梅工場ショールームにおける国立台湾科学技術大学学生に対する窓に関する知識向上イベントの開催	YKK AP台湾社	20名

地域貢献（海外）

(2023年 6月現在)

対象者	活動名称	活動内容	実施拠点	2022年度実績
健康・医療	献血活動	現地病院に従業員が献血	YKK APアメリカ社	80名
		楊梅工場における献血会開催（半年ごと）	YKK AP台湾社	73名
近隣地域	イベント開催・協力	環境撮影大会	YKK AP大連社	36名
		食糧の節約月間		180名
		子ども用品のフリーマーケット		231セット
		第7回江蘇科技大学「吉田建材杯」材料総合技能大会／第9回吉田建材機械デザイン大会協賛	YKK AP蘇州社	160名
		第13回蘇州外資企業運動会参画		58名
		深圳マラソンボランティア活動	YKK AP中国社	13名
	老人ホームボランティア活動	8名		
	社会福祉	地元小・中学校への中古パソコン、プリンターの寄付	YKK AP インドネシア社	25名
		昼食と飲み物の公立学校生徒への寄付		15名
		公立学校に対する対コロナ衛生器具の寄付	YKK APタイ社	300名
		戦争、貧困、災害によって傷ついた人々への援助	YKK APアメリカ社	活動実施
		車いす通路の提供による退役軍人の住宅の品質向上活動		活動実施
		病気の子どもたちへの食事の提供等		25名参加
		アトランタ青少年サッカー財団- 恵まれない若者に対するサッカー練習環境及び生活環境の提供活動への支援		活動実施
	社会教育	全国開口部安全週間における転落事故の意識向上活動	YKK APアメリカ社	活動実施
		リサイクルに対する意識向上による廃棄物処理管理啓蒙活動参画		40名
	自然保護活動	ブルーヘロン自然保護スポンサー	YKK AP中国社	活動支援
外部環境活動		10名		

植樹活動	植樹の実施と、過去22年間のYKKグループの植樹活動を表彰する式典への参加	YKK APアメリカ社	18名 (19本)
	アースデイの植樹活動	エリーAP社	17名 (30本)
	マングローブの植樹	YKK AP インドネシア社	2015年以降合計 27,000本
	植樹	YKK AP大連社	28名 (4本)
	会社植樹「嘉宝果木」(ジャボチカバ)	YKK APアメリカ社	10名 (3本)
	公園植樹(南京支店)		13名 (13本)
	公園植樹(重慶支店)		6名 (6本)
	公園植樹(蘇州支店)		14名 (7本)
清掃活動・美化活動	高速道路ロードサイド清掃活動	YKK APアメリカ社	10名
	ジョージア州の水資源の美化ボランティア活動		20名
	町の清掃活動	YKK AP大連社	55名
	電子廃棄物の収集及び処理		125セット
	SDGs環境保護清掃活動参画	YKK AP蘇州社	30名
	ゴミ分類強化活動参画		700名
	社内植木枝清掃活動	YKK AP中国社	15名
	苏州河清掃活動(ゴミ拾い)		7名 (2kg)

ステークホルダーとの取り組み

関連するSDGs



環境人材

YKK APは、環境政策の推進においてはその基盤となる人材の育成が重要であると考え、さまざまな環境教育や意識啓発を通じて、次代を担う環境人材の育成と、全員参加の環境活動に取り組んでいます。

方針・考え方

YKK APの目指す姿

YKK APは、次世代に対してより良い社会・環境をつくるために、多様な人材を基盤とし、未来を見据えて新たな環境価値を創出することを目指します。

2022年度の統括と今後の展開

2022年度は、環境教育受講率100%を達成するとともに、全従業員を対象とした参加型の環境活動（SDGsアクション）についても、目標である98%以上の参加率となりました。今後も継続的に取り組み、従業員の意識啓発を図るとともに、環境保全活動の主体的な実践を推進します。

テーマ	2022年度計画	2022年度実績		2023年度計画
環境教育受講率※1	100%	100%	○	100%
SDGsアクション参加率※1	98%以上	夏：99% / 冬：98%	○	98%以上

※1：YKK APグループ（国内）

環境教育の推進

従業員への環境教育

全従業員を対象とした教育では、環境意識の高揚と、環境コンプライアンスをはじめとした基礎知識の理解を促す内容の環境e-Learningを年1回実施しており、毎年100%の受講率となっています。また、環境課題を自分のこととして捉え、行動を促すために、「環境行動カード」を作成し全従業員に配布しています。環境行動カードを通じて、YKK APの環境経営方針・環境方針を周知するとともに、部署の環境目標とそれに関連するSDGsのゴールなどを各自で記入し、日々意識して取り組んでいます。さらに、新入社員教育・管理者研修などの階層別教育のほか、営業・開発など部門に応じた教育にも、環境教育を組み込んでいます。

環境業務を担当する社員に対しては、外部講師による廃棄物リスクマネジメントセミナーや内部監査員養成セミナーなどの専門教育を実施し、必要な知識・スキルの習得を図っています。

全員参加の環境活動

YKK APでは、全従業員を対象とした参加型の環境活動を年2回開催しています。2022年度は、持続可能な社会のために私たちができることを考えて実践することを目標とした「SDGsアクション」と、気候変動が世界全体の課題となっている中、CO₂削減のためにできることを考えて実践することを目標とした「カーボンニュートラルアクション」を開催し、各自で選択したアクション項目にチャレンジしました。また、2021年度からは海外拠点にも「SDGsアクション」を展開し、推進しています。国内拠点では100%に近い参加率となっており、今後も、継続的に取り組んでいきます。

◆ CO₂削減のために私たちにできることを考え、実施しましょう ◆

1/23~2/22の期間に実施したカーボンニュートラルアクションについて、○印を入力してください。(いくつでも可能です)

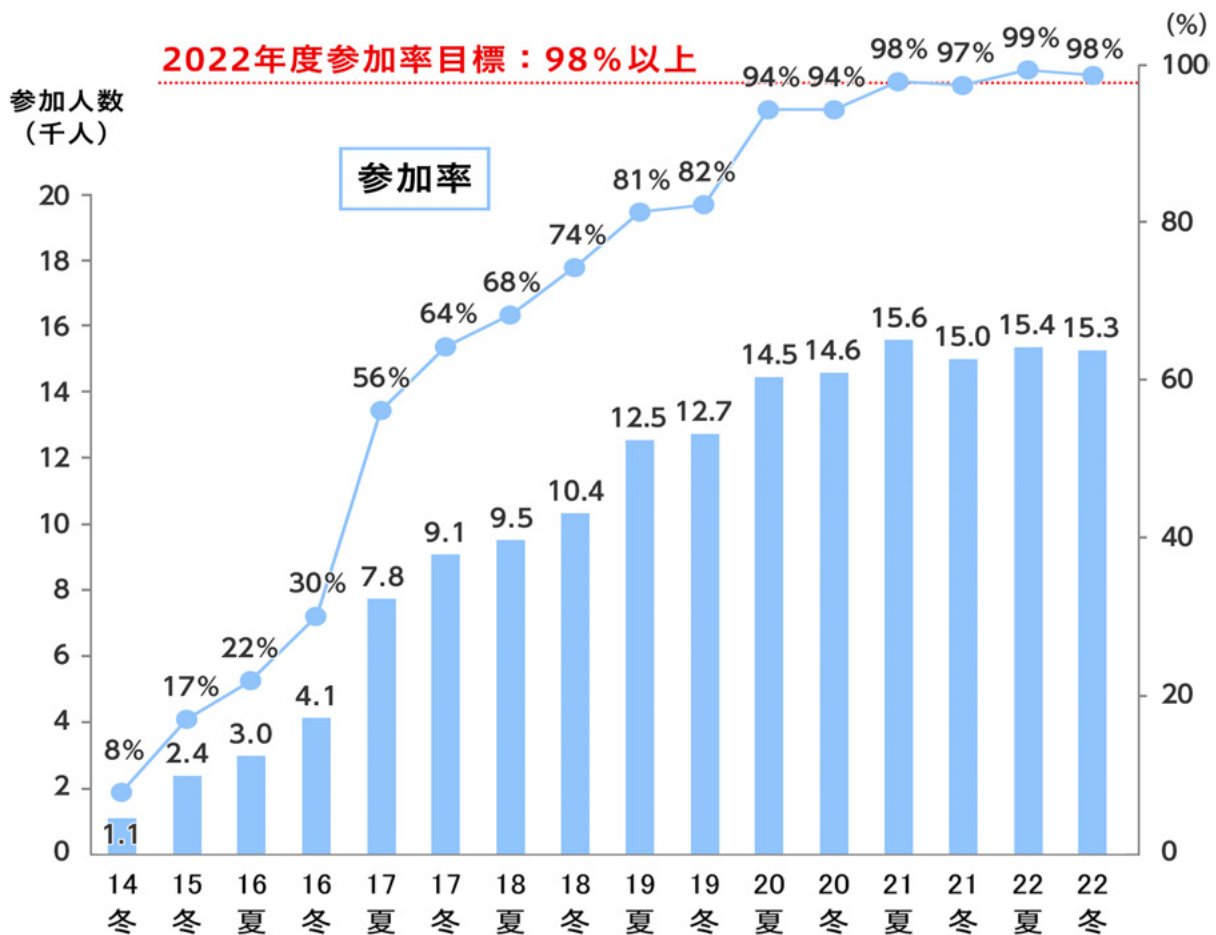
◆記録表に「実施した台数」「実施した日数」を入力すると、あなたが実施した分のCO₂削減量と節約金額が計算できます。
Googleフォームで提出される方も、是非計算してみてください。

	○印 入力	カーボンニュートラルアクション	1ヶ月のCO ₂ 削減量(目安)	1ヶ月の節約 金額(目安)	入力して下さい		あなたの CO ₂ 削減量	あなたの 節約金額
					実施した 台数	実施した 日数		
電気等 のエネルギー 節約や 転換		① 暖房の設定温度を通常よりも1℃低く設定する	1.6 kg/人	150 円		日	0.00 kg	0 円
		② 暖房は必要な時だけつける(1日1時間短くする)	2.2 kg/台	75 円	台	日	0.00 kg	0 円
		③ エアコンのフィルターを月2回程度清掃する	1.1 kg/台	58 円	台	(回)	0.00 kg	0 円
		④ テレビを見ない時はこまめに消す(1日1時間減らす)	2 kg/台	67 円	台	日	0.00 kg	0 円
		⑤ 家庭の水使用量を減らす(約20%削減が目安)	0.9 kg/世帯	1,333 円		日	0.00 kg	0 円
		⑥ 主電源を切る・コンセントを抜く・待機電力の少ない家電に買い替えるなどにより、待機電力を50%削減する	5 kg/世帯	283 円		日	0.00 kg	0 円
		⑦ トイレを使わないときはフタを閉める	1.4 kg/台	90 円	台	日	0.00 kg	0 円
		⑧ 洗濯ものはまとめて洗いをする	0.2 kg/台	376 円	台	日	0.00 kg	0 円
		⑨ 洗濯ものを乾燥機を使わず自然乾燥する	16 kg/台	1,019 円	台	日	0.00 kg	0 円
		⑩ 宅配便を1回で受取る(宅配BOX、指定)	0.6 kg/人	待ち時間の節約		日	0.00 kg	
衣食住 関連		⑪ 太陽光発電パネルを設置する	106 kg/人	4,416 円		(回)	0.00 kg	0 円
		⑫ 二重窓に取り替える	3.9 kg/世帯	1,917 円		(回)	0.00 kg	0 円
		⑬ テレワーク等で通勤にかかる移動距離をゼロにする	2.3 kg/人	5,083 円		日	0.00 kg	0 円
		⑭ 食事を食べ残さない(食品ロスを減らす)	4.5 kg/人	食資源の節約		日	0.00 kg	
		⑮ 地産地消する	0.7 kg/人	輸送費の節約		日	0.00 kg	
		⑯ マイバッグを使用する	0.08 kg/人	資源の節約		日	0.00 kg	
		⑰ フリマ・シェアリング・レンタルをする	3.3 kg/人	資源の節約		日	0.00 kg	
		⑱ ゴミの分別をおこなう	0.3 kg/人	資源の節約		日	0.00 kg	
移動 関連		⑲ エコドライブ (アイドリングストップ、ふんわりアクセル・ゆっくりスタート)	10 kg/台	718 円	台	日	0.00 kg	0 円
		⑳ 徒歩、自転車や公共交通機関を利用する	20 kg/人	1,000 円		日	0.00 kg	0 円
その他の アクション		●						
		●						
○の 合計数	0 個					合計	0.00 kg	0 円

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。
「ゼロカーボンアクション30」にできるところから取り組んでみましょう！

カーボンニュートラルアクション記録表

「SDGsアクション」参加率の推移



〈2022年度 環境・SDGs関連の教育実績〉

月	内容	対象	受講者数
4月	環境管理教育（営業拠点が遵守すべき項目）	営業拠点の管理責任者・環境担当者	39名
	海外赴任前研修	海外赴任予定者	1名
5月	新入社員教育	全国採用の新入社員	89名
6月	SDGsアクション	全従業員	14,536名
	廃棄物リスクマネジメントセミナー	各拠点の環境責任者・マニフェスト交付者	112名
7月	内部監査員養成セミナー	環境ISO担当者	41名
8月	海外赴任前研修	海外赴任予定者	4名
8月～9月	eラーニングによるSDGsの学習	全従業員	12,388名
11月	環境eラーニング教育（環境自覚教育） ※パソコン環境のない従業員には、同内容の集合教育・自主学習を実施しています。	全従業員	12,845名
1月～2月	カーボンニュートラルアクション	全従業員	15,492名
2月	海外赴任前研修	海外赴任予定者	8名
2月～3月	サステナビリティ研修	国内・海外YKK APグループ（関係会社含む）全社員	9,716名